

「安全なまちづくり」についてのアンケート結果

犯罪に遭うことなく、安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、県民の皆さんや関係機関等と連携して安全なまちづくりに関する施策に取り組んでいます。防犯活動について、県民の皆さんがどういった意識を持っておられるかをお聞きし、今後の施策推進に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期 : 平成30年11月

★対象者 : 県政モニター395人

★回答数 : 319人(回収率80.8%)

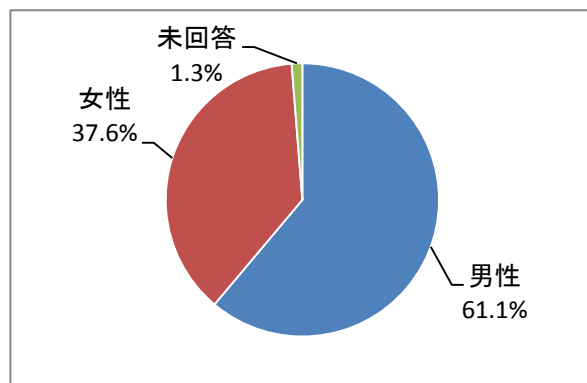
★担当課 : 県民生活部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

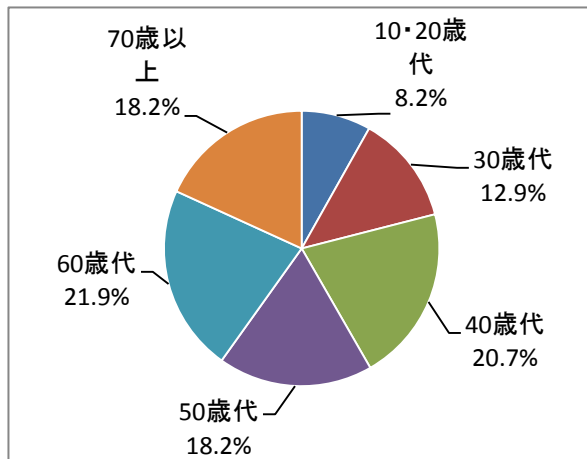
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	195	61.1
女性	120	37.6
未回答	4	1.3
合計	319	100.0



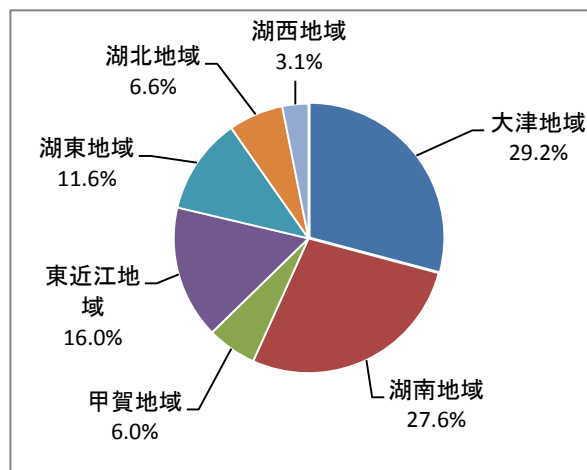
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	26	8.2
30歳代	41	12.9
40歳代	66	20.7
50歳代	58	18.2
60歳代	70	21.9
70歳以上	58	18.2
合計	319	100.0



◆地域

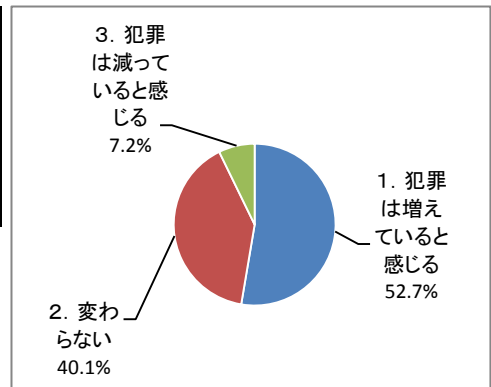
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	93	29.2
湖南地域	88	27.6
甲賀地域	19	6.0
東近江地域	51	16.0
湖東地域	37	11.6
湖北地域	21	6.6
湖西地域	10	3.1
合計	319	100.0



問1. 昨年(平成29年)1年間の滋賀県内における犯罪発生状況について、どう感じますか。

(回答チェックは1つだけ n=319)

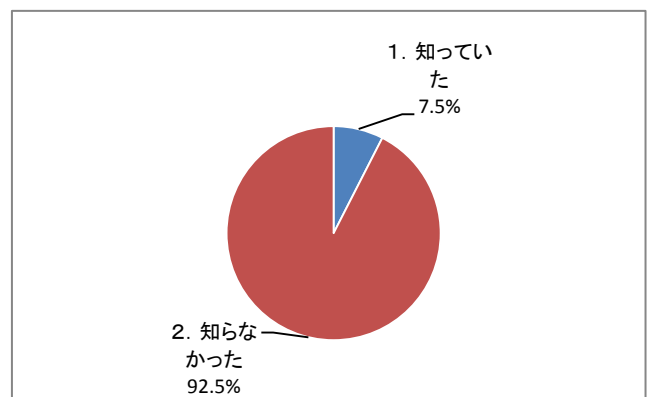
項目	人数(人)	割合(%)
1. 犯罪は増えていると感じる	168	52.7
2. 変わらない	128	40.1
3. 犯罪は減っていると感じる	23	7.2
合計	319	100.0



問2. 昨年(平成29年)1年間で、滋賀県内でおおよそ何件犯罪が発生しているか知っていましたか。

(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	24	7.5
2. 知らなかった	295	92.5
合計	319	100.0

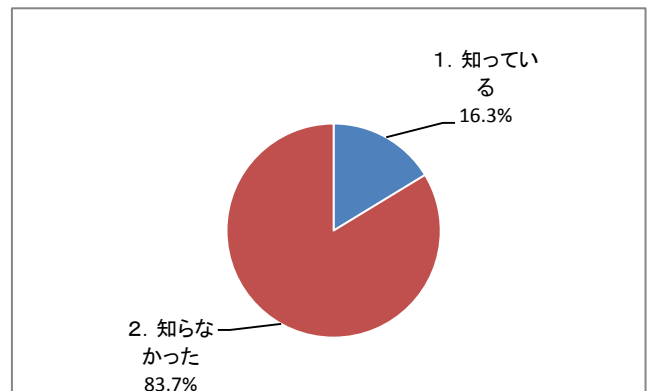


問3. 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議*(会長:滋賀県知事)において、毎年、年間の犯罪抑止目標を設定していることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

[平成29年の犯罪抑止目標:刑法犯認知件数9,000件以下]

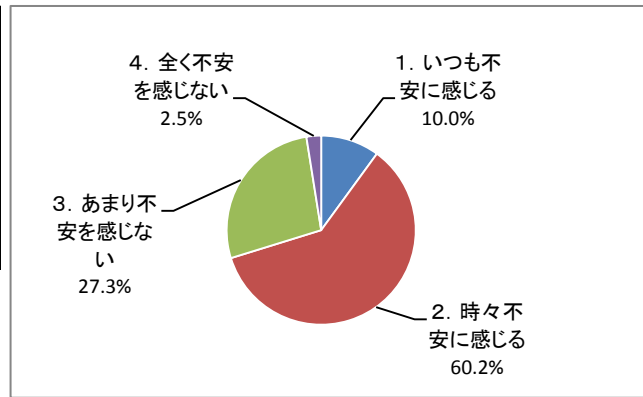
*「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議とは、県・市町・県民・事業者等の92の機関・団体で構成されており、県民等が犯罪に遭うことなく、安全に安心して生き生きと暮らすことができる社会を実現するための取り組みを実践しています。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	52	16.3
2. 知らなかった	267	83.7
合計	319	100.0



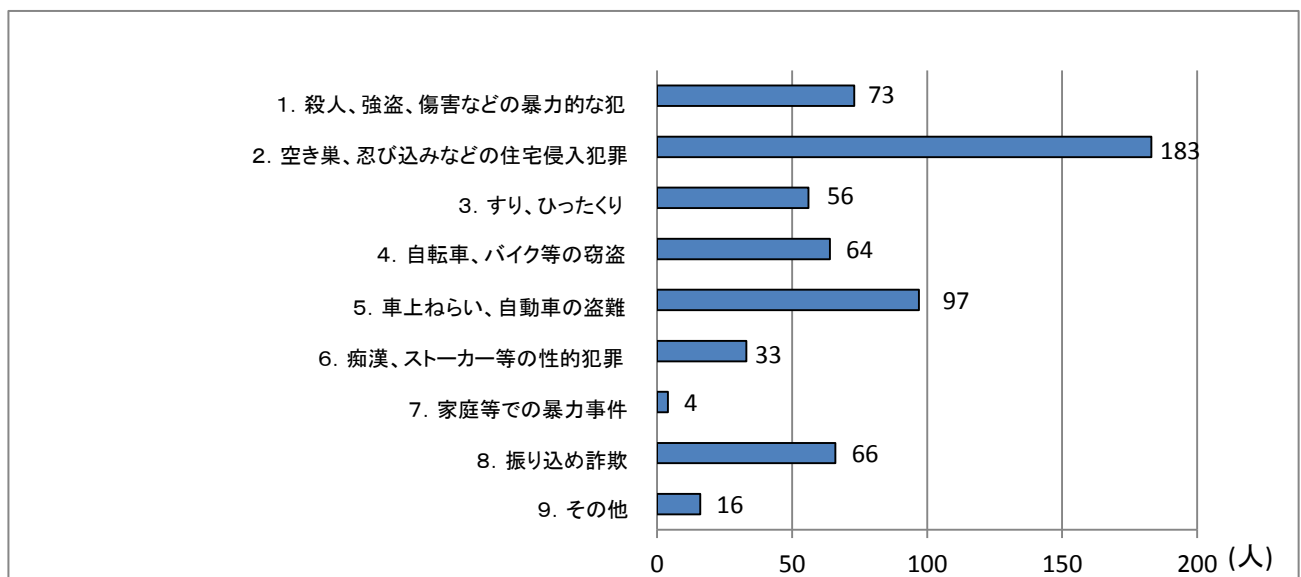
問4. あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じますか。
 (回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも不安を感じる	32	10.0
2. 時々不安を感じる	192	60.2
3. あまり不安を感じない	87	27.3
4. 全く不安を感じない	8	2.5
合計	319	100.0



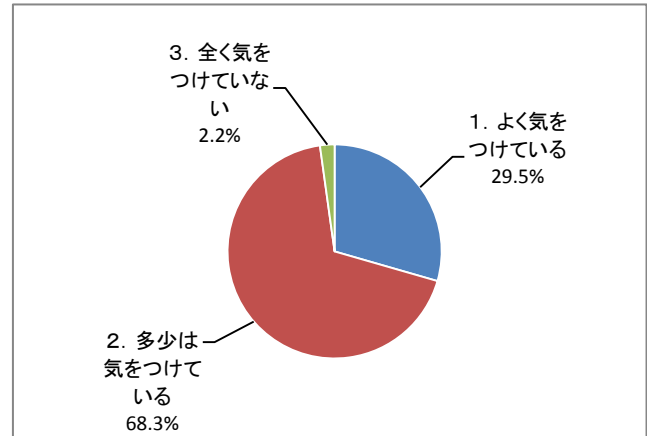
問5. 問4で「1. いつも不安を感じる」、「2. 時々不安を感じる」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような種類の犯罪に遭うのではないかと不安を感じていますか。(回答チェックは3つまで n=224)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	73	32.6
2. 空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	183	81.7
3. すり、ひったくり	56	25.0
4. 自転車、バイク等の窃盗	64	28.6
5. 自動車の盗難、車上ねらい	97	43.3
6. 痴漢、強制わいせつ等の性的犯罪	33	14.7
7. 家庭等での暴力事件	4	1.8
8. 振り込め詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺	66	29.5
9. その他	16	7.1



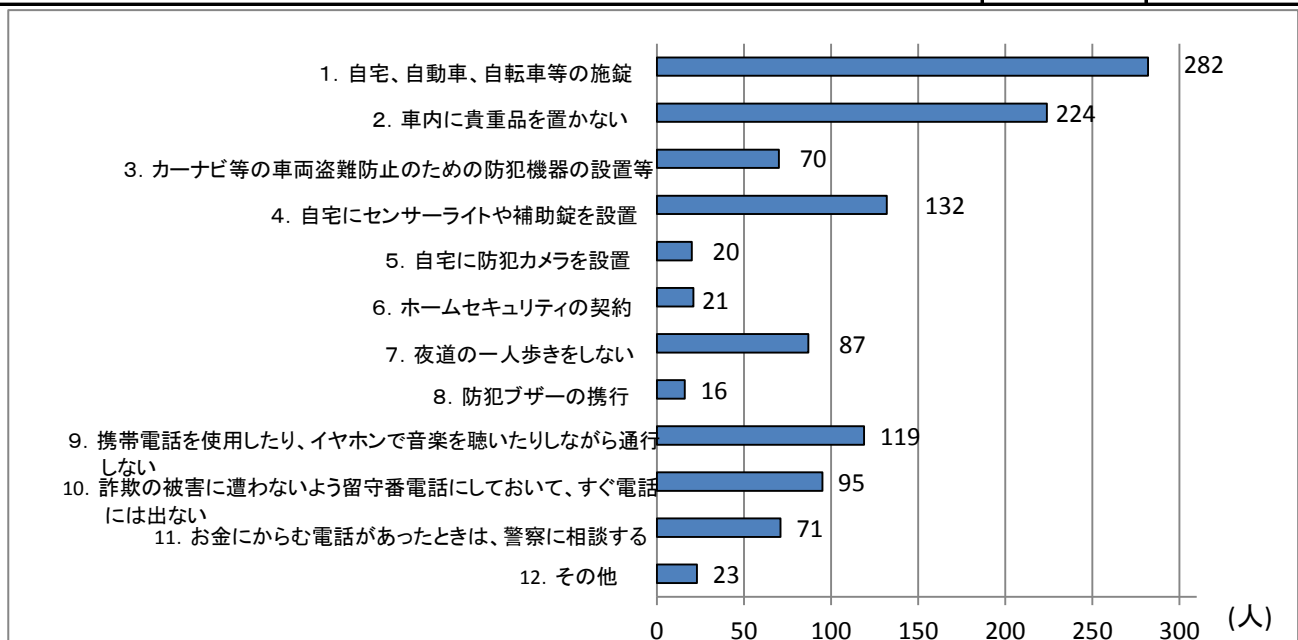
問6. 普段、あなたは家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. よく気をつけている	94	29.5
2. 多少は気をつけている	218	68.3
3. 全く気をつけていない	7	2.2
合計	319	100.0



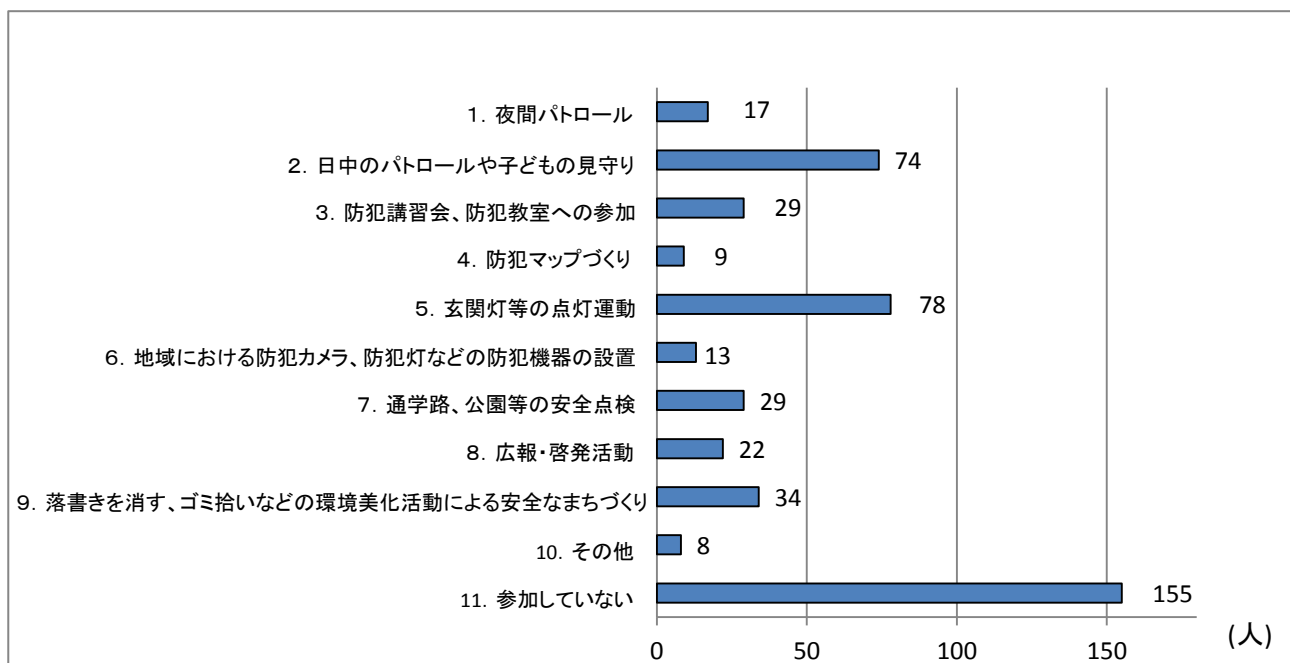
問7. 問6で「1. よく気をつけている」または「2. 多少は気をつけている」と回答された方にお聞きます。あなたが、日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(回答チェックはいくつでも n=312)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅、自動車、自転車等の施錠	282	90.4
2. 車内に貴重品やカバン等を置かない	224	71.8
3. カーナビ等の車両盗難防止のための防犯機器の設置等	70	22.4
4. 自宅にセンサーライトや補助錠を設置	132	42.3
5. 自宅に防犯カメラを設置	20	6.4
6. ホームセキュリティの契約	21	6.7
7. 夜道の一人歩きをしない	87	27.9
8. 防犯ブザーの携行	16	5.1
9. 携帯電話を使用したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながら通行しない	119	38.1
10. 詐欺の被害に遭わないよう留守番電話にしておいて、すぐ電話には出ない	95	30.4
11. お金にからむ電話があったときは、警察に相談する	71	22.8
12. その他	23	7.4



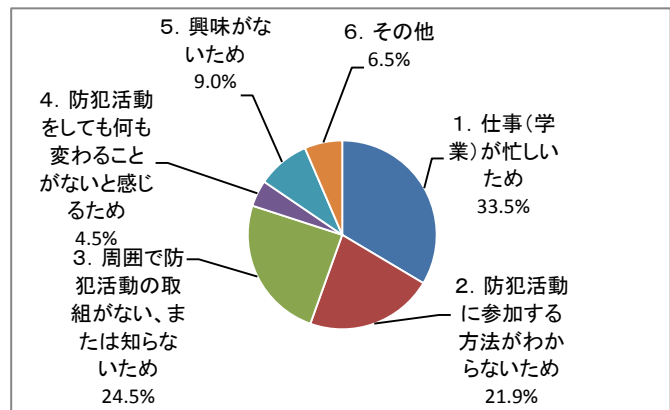
問8. あなたは、どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。(回答チェックはいくつでも n=

項目	人数(人)	割合(%)
1. 青色回転灯装着車(青パト)や徒歩でのパトロール	17	5.3
2. 登下校時の子どもの見守り	74	23.2
3. 防犯講習会、防犯教室への参加	29	9.1
4. 防犯マップづくり	9	2.8
5. 玄関灯等の点灯運動	78	24.5
6. 地域における防犯カメラ、防犯灯などの防犯機器の設置	13	4.1
7. 通学路、公園等の安全点検	29	9.1
8. 広報・啓発活動	22	6.9
9. 落書きを消す、ゴミ拾いなどの環境美化活動による安全なまちづくり	34	10.7
10. その他	8	2.5
11. 参加していない	155	48.6



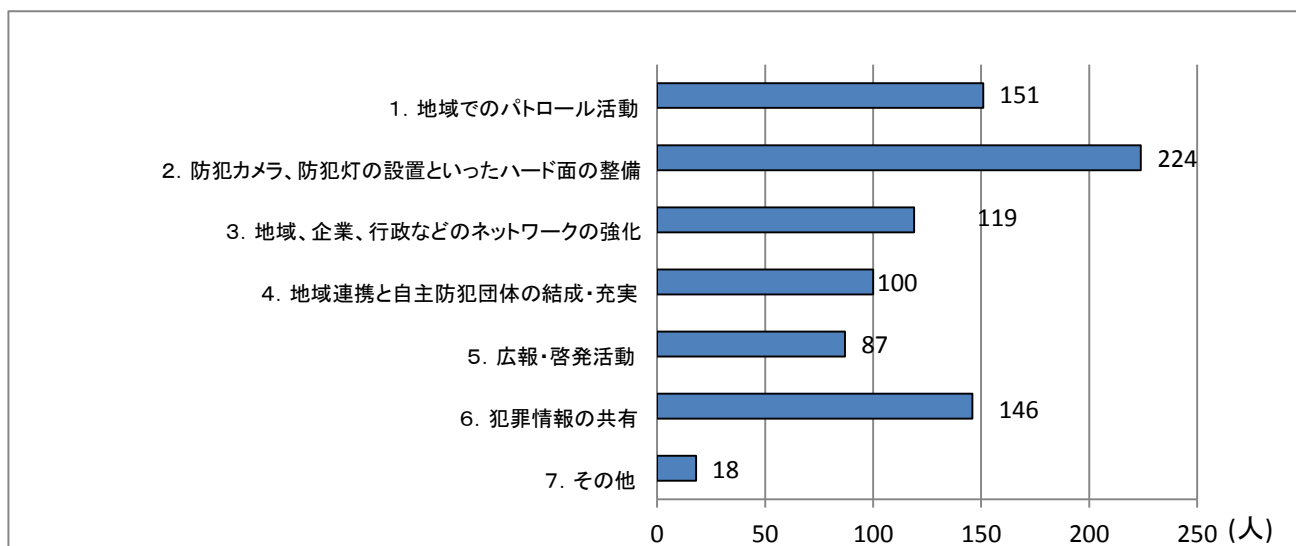
問9. 問8で「11. 参加していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが防犯活動に参加していない理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ n=155)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事(学業)が忙しいため	52	33.5
2. 防犯活動に参加する方法がわからないため	34	21.9
3. 周囲で防犯活動の取組がない、または知らないため	38	24.5
4. 防犯活動をしてても何も変わることがないと感じるため	7	4.5
5. 興味がないため	14	9.0
6. その他	10	6.5
合計	155	100.0



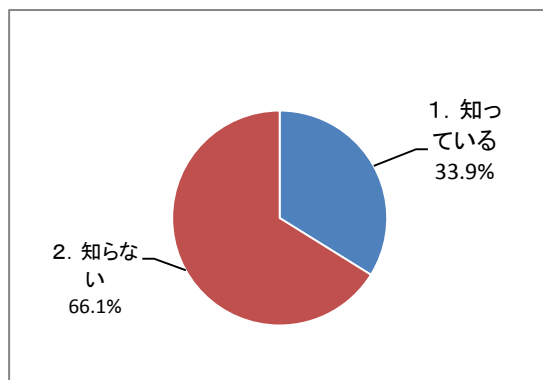
問10. 今後望まれる防犯対策の取組は、どのようなものですか。(回答チェックはいくつでも n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 地域でのパトロール活動	151	47.3
2. 防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備	224	70.2
3. 地域、企業、行政などのネットワークの強化	119	37.3
4. 地域連携と自主防犯団体の結成・充実	100	31.3
5. 広報・啓発活動	87	27.3
6. 犯罪情報の共有	146	45.8
7. その他	18	5.6



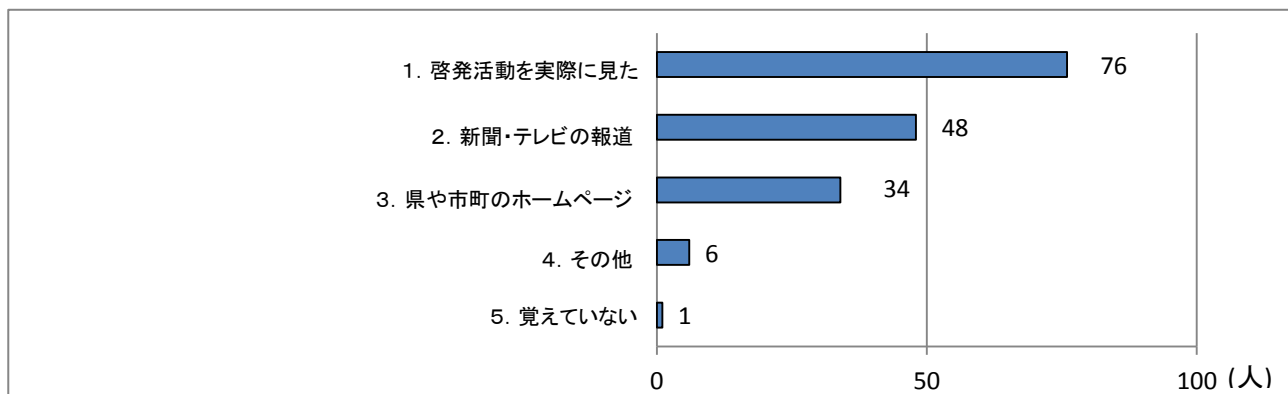
問11. 県民の皆さんが犯罪の被害に遭わないよう、県・市町・県民・事業者等が協働し、目に見える防犯啓発活動を街頭や大型店舗等において実施しているのを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	108	33.9
2. 知らない	211	66.1
合計	319	100.0



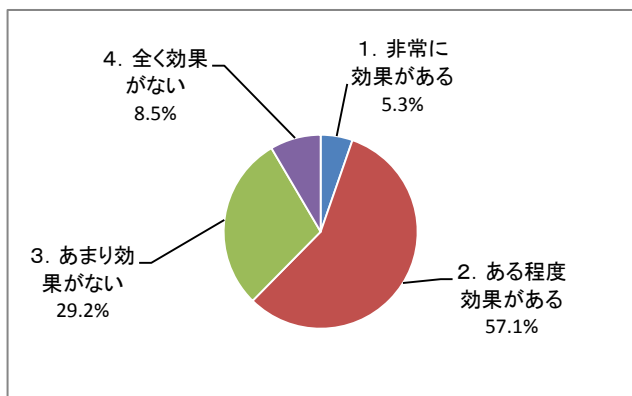
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。あなたは、防犯啓発活動を実施していることを何で知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=108)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 啓発活動を実際に見た	76	70.4
2. 新聞・テレビの報道	48	44.4
3. 県や市町のホームページ	34	31.5
4. その他	6	5.6
5. 覚えていない	1	0.9



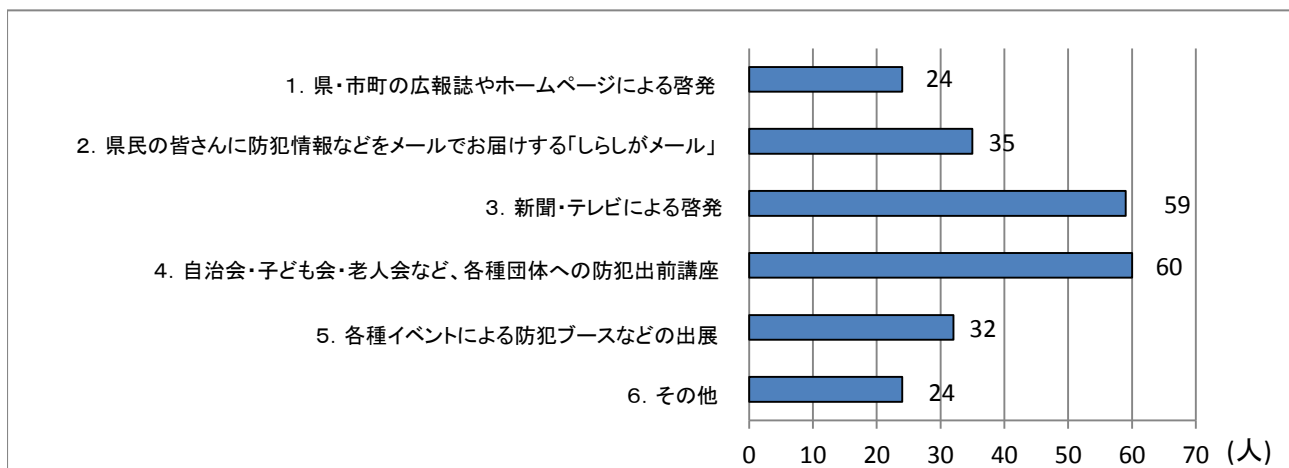
問13. 街頭や大型店舗等でのチラシ配布による啓発活動は、効果があると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に効果がある	17	5.3
2. ある程度効果がある	182	57.1
3. あまり効果がない	93	29.2
4. 全く効果がない	27	8.5
合計	319	100.0



問14. 問13で「3. あまり効果がない」、「4. 全く効果がない」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような啓発であれば効果があると思いますか。(回答チェックはいくつでも n=120)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県・市町の広報誌やホームページによる啓発	24	20.0
2. 県民の皆さんに防犯情報などをメールでお届けする「しらがメール」による情報発信	35	29.2
3. 新聞・テレビによる啓発	59	49.2
4. 自治会・子ども会・老人会など、各種団体への防犯出前講座	60	50.0
5. 各種イベントによる防犯ブースなどの出展	32	26.7
6. その他	24	20.0



問15. 安全なまちづくりに関して、御意見がありましたら記入してください。

◎特殊詐欺について

- ・独居老人は、電話などの詐欺行為を絶えず声掛けし、注意喚起を心掛ける。
- ・テレビのニュースで、滋賀県で〇〇円の詐欺事件、と報道されると、ドキ！とするので、とても効果がある。
- 量販店でのチラシなどでアピールするとよい気がします。
- ・しらがでメール送信していただいている、詐欺情報などは大変役にたっていると思います。具体的な事例なのでわかりやすくいいです。
- ・高齢者の振り込み詐欺はなくなりません。家族やまた近所間の関係の希薄化が影響しているのではないのでしょうか。

◎子ども・女性対象犯罪について

- ・近所の顔が分かる近所つきあいが基本と思われる。それによって、不審者等を早期に発見でき、子供を守ることにも繋がる。
- ・学童登下校時の見守りと子供達が何かの時非常ボタンのようなものの配置が出来ればと思う

◎防犯カメラや防犯灯の設置等の環境整備について

- ・落書きの防止や消去。環境美化など住環境の乱れを小さなことから正していく。
- ・街灯を明るくしてくれるだけで安心感があります。
- ・個人情報保護の問題はありますが、防犯灯、防犯カメラなどハード面の設置とカメラ設置中の表示が効果的ではないでしょうか
- ・防犯カメラの設置は犯罪の抑止力になると思う。

◎自助・共助・自主防犯活動の取組について

- ・昔の隣組制度ではないが、やはり常に身近なことに関心を抱いて、地域の住民が絆を強くすることにより、空き巣等の犯罪は減ると思う。
- ・地域での防犯活動団体等と住民の意見交換で啓発活動を定期的で開催しては……
- ・地域のボランティアの方が、子どもの下校時間に交通安全の誘導をしてくれている姿を見て、ありがたいと感じています。安心できます。空いた少しの時間だけでも子どもの見守りできたらなと思います。
- ・運動も兼ねて自転車で集落周辺を回っている。また、ウォーキングされている人も良く見かける。このような人達に防犯啓発の帽子とかジャンパーを着用してもらいパトロール形式をとってはどうか。

◎警察の取組について

- ・警察署からの定期的な「防犯出前講座」や「地域防犯診断」等が実施され指導・支援があれば心強い。加えて近くの交番から「防犯情報」の継続的な提供や巡回等の出会いがあれば一層安全・安心感が増すことになる。
- ・街にパトカーや白バイが通行しているだけでも、防犯の効果があるように思えます。パトカーや白バイが通っていくのを見ると安心しますが、その反面、その時間は駅前交番などはお留守なのか？と気になります。
- ・警察の定期巡回が大事
- ・町内会などの民間人の見回りも必要だが、パトカーによる警察官の見回りが効果が高いと思うので強化してほしい。

◎県、市町等の行政の取組について

・活動は、いつまで・何回やればいいのか等の限度がありません。マンネリ化しない様、常に緊張をもって活動を行う事が必要と考えます。他人任せでなく住民が率先して継続的な活動が行えるよう行政等からは支援を頂けたら好ましい。

・自主防犯活動は学区単位で補助金等の支援があるが、自治会単位で細かな補助、支援を得られるようにして欲しい。

◎広報啓発・情報発信について

・どのような犯罪や事件が起こっているかの情報を共有すること、解決したときの取組や情報も知らせる取組をするとよい。

・新聞は読まない人も増えているので、ネットによる、个番者配信か、一番情報周知として、啓発にもなると思う。

・啓発活動など、人目があることで犯罪の抑止力につながると思います。

・いかにスピード感を持って犯罪発生情報を地域住民に共有させるかにかかっていると思う。

・大きい単位で啓発運動するよりも、自治体、家族、など、単位が小さくなればなるほど効果があるように思う。

◎防犯意識、安全なまちづくりについて

・SNSを通じてのネットワークづくりに力をいれてはどうかと思います。受け身ではなく積極的にネットワークづくりをしてはどうでしょうか。

・家庭、地域、教育において、お互いに、お互いを見ているんだと認識しあえる環境が犯罪の低下に繋がるのではないかと思います。

・防犯のための情報の共有と、自分だけ安全ならよいわけではなく、地域全体の安全のためには住民同士がつながることも大切だという意識を育む必要があると思う。

◎その他

・子供のときからの適切なシツケや、少年・若者に対する教育や指導が必要だと思われる。

・大人になってからも犯罪になる前に必要と思われるときは特別講習や強制ボランティアなどによる研修場所があればいいと思う。